

DX戦略実現に向けた取組み状況

2026年6月
北陸電力株式会社

2025年度は、業務へのAI活用やデータ利活用に注力するとともに、北陸電力グループ全体のDX推進に向けた活動を展開

北陸電力DX戦略実現に向けた取組み状況

- 1).データ分析・データ利活用の促進 …P2
- 2).LingoGPTの機能拡充 …P3
- 3).水力発電所におけるスノージャムの遠隔監視 …P4
- 4).会計・購買システムのAI機能等の導入 …P5
- 5).北陸電力グループ DXイベントの開催 …P6
- 【参考①】北陸電力DX戦略 …P7
- 【参考②】DX認定の更新 …P8

1). データ分析・データ利活用の促進

業務効率化および経営判断の迅速化に向け、BIツールを導入

目的

- データ分析業務の効率化および迅速化による、経営判断の高度化・意思決定スピードの向上

実施事項

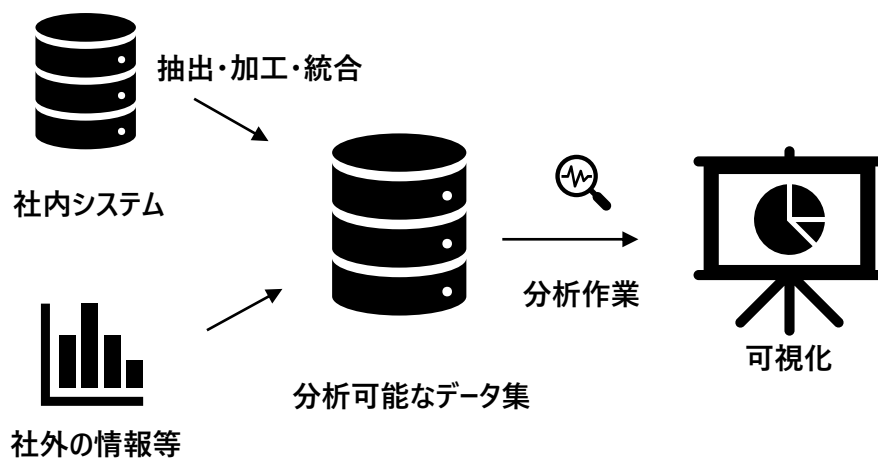
- BIツールの概要・操作方法を学ぶワークショップ等を開催
- 各システム・フォルダに散在するデータの収集・統合によるデータ基盤の整備
- 業務の進捗状況やKPIを把握できるダッシュボードの作成

成果

- 業務に応じたダッシュボードの作成による、データ集計の自動化(作業時間の削減)
- 社内でデータ活用への関心やマインドの醸成

イメージ

社内に点在するデータを統合し、データを可視化



BIツール勉強会の様子



2). LingoGPTの機能拡充

全社で利用している当社専用の生成AI「LingoGPT」に、文章推敲アシスト機能や議事録自動生成機能等を拡充

目的

- 生成AIの活用による、資料作成の効率化・議事録作成業務の省力化

実施事項

- 当社専用の生成AI「LingoGPT」に下記の機能を内製で開発
 - ① 2025年8月に、Microsoft Office上で直接利用できる文章推敲機能「Hey! Lingo.」を追加
 - ② 2025年12月に、録音データから議事録を自動生成する機能「Lingo録」を追加

成果

- 「Lingo録」では議事録作成1件あたり約▲40分の作業時間を削減

イメージ

■「Hey!Lingo.」の主な機能

- WordやPowerPointに文章推敲・得失表作成機能を追加し、文章・資料作成業務を省力化



■議事録自動生成AIの主な機能



- 録音データをアップロードするだけでAIが議事録を自動生成
- 話者識別や単語登録等の機能も備え、議事録作成業務を省力化

- ①高精度の議事録作成 ②声紋登録・話者識別 ③専門用語の登録 (文字起こし・要旨)



④音声再生機能



⑤所定様式への出力



⑥ストレージ機能



3). 水力発電所におけるスノージャムの遠隔監視

大和電建株式会社・福井工業高等専門学校と連携し、AIを活用した水力発電所のスノージャム（雪詰まり）検知システムの実施

目的

- 水力発電所のスノージャム（雪詰まり）による設備被害や発電停止の未然防止
- 地元企業、教育機関と連携による地域社会・産業の発展や人材育成への貢献

実施事項

- カメラで撮影された画像をスノージャムの発生有無で分類し、AIを用いた深層学習モデルを構築
- 実際にカメラ映像からスノージャムを検知するシステムを開発し、運用を開始

成果

- スノージャム検出システム装置を設置し、今後の設備被害未然防止や保守作業効率化の基盤を構築
- 福井県の学生が卒業研究として実際の発電所現場を活用、実践的な学びを支援

イメージ

ダム取水口を24時間常時監視

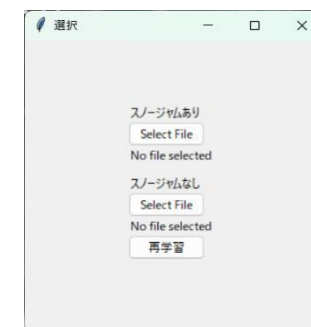


スノージャムなし



スノージャムあり

再学習画面



画像分析結果

【出力結果】

スノージャムの占有割合を数値とグラフで表示

スノージャム量の変化: 増加中

スノージャム: 37.99%

スノージャム量の変化: 増加中

スノージャム: 37.99%

- ・水力センターへ警報表示
- ・排雪を自動制御で実施

4). 会計・購買システムのAI機能等の導入

会計・購買システムSAPの更新に合わせた機能導入により、北陸電力グループ全体の業務生産性・品質を向上

目的

- 会計・購買システムの更新(2026年1月)に合わせたAI活用による バックオフィス業務のDX推進

実施事項

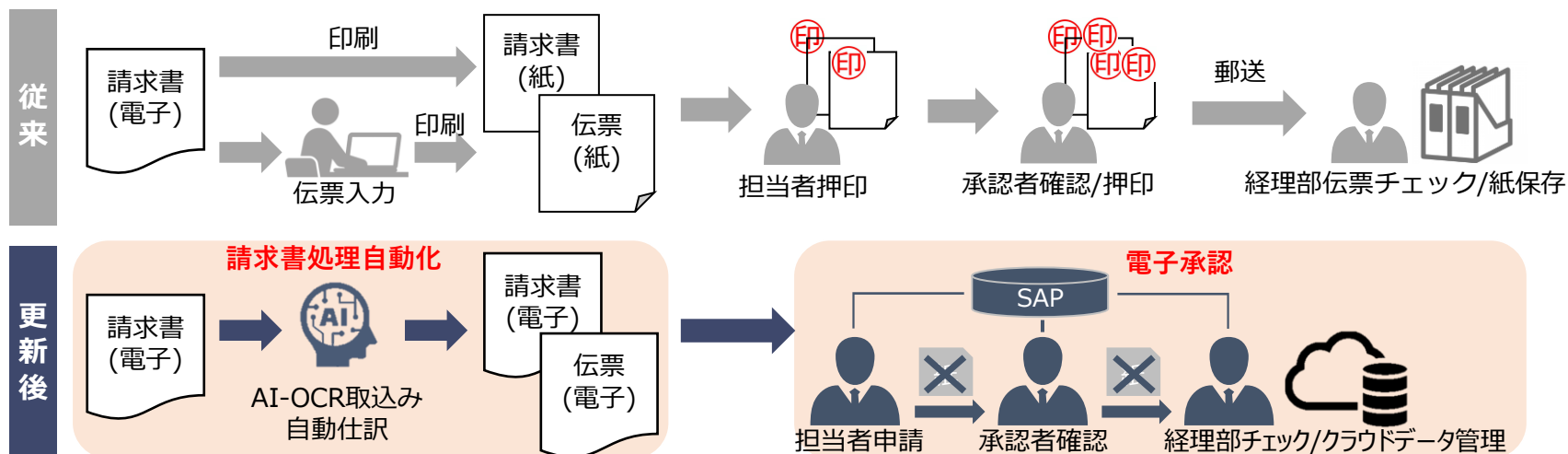
- AI-OCRによる請求書処理自動化機能の導入
- ワークフロー機能（電子承認）の導入

成果

- 請求書データからの自動入力（AI-OCR）による 業務効率化および品質向上（人的ミスの防止）
- 電子化に伴う ロケーションフリーによる承認プロセスの迅速化、ペーパーレス化推進
- グループ大での検討・実施による導入コスト(検討コスト・教育コスト等)の低減

イメージ

■AI-OCR/ワークフロー機能



5). 北陸電力グループ DXイベントの開催

階層向けDX教育を継続実施するとともに、
北陸電力グループ全体のDX推進の意識・風土醸成に向けたグループDXイベントを開催

目的

- ・ 北陸電力グループにおけるDX推進の意識・風土醸成

実施事項

- ・ 2025年12月にグループ全体のDXイベント「北陸電力グループDXオープンデイ2025」を開催

成果

- ・ グループ会社全体で18社/約350名が参加
＜参加者アンケート＞イベントがDXマインドアップ向上に寄与：100%

イメージ

■北陸電力グループ DXオープンデイ2025

<第1部>

- ・ DXマインドアップセミナー
- ・ 北陸電力 AI活用/デジタルツール
利用事例紹介

<第2部>

- ・ グループ kintone活用事例発表会
- ・ DX推進相談会

＜オープンデイに込めた思い＞
オープンデイは“開放日”
各社DXの取組み/成果/マインドを開放する日としたい



DXマインドアップセミナー
(外部講師によるDXリテラシー教育)



kintone事例発表会
(kintoneの良好事例の水平展開)

北陸電力ではDX戦略で3つの方針と6つのActionを掲げ取組みを推進

■ 2050年の将来像

地域とともに、持続可能なスマート社会を目指して

■ 新中期経営計画の経営の3本柱

柱Ⅰ

安定供給確保と収支改善および財務基盤強化

柱Ⅱ

地域と一体となった脱炭素化の推進

柱Ⅲ

Ⅲ.持続的成長に向けた事業領域の拡大

方針① 生産性向上

Action①

業務の高度化

Action②

柔軟・効率的な働き方

北陸電力
DX

方針② 新たな価値創造

Action③

付加価値サービスの提供

Action④

地域の課題解決・貢献

方針③ 変化に対応可能な環境整備

Action⑤

システム基盤の見直し

Action⑥

DX人材の育成

- ✓ 当社は、2024年3月に、経済産業省が定める「DX認定事業者」に認定されており、**2026年3月に認定を更新しました。**
- ✓ 今後もより一層の取組みの定着・加速を図ることで、経営環境の変化に柔軟に対応し、**北陸地域と共に持続可能な発展とスマート社会の実現を目指してまいります。**



北陸電力グループの「DX認定事業者」

北陸電力(株)、北陸電力送配電(株)、金沢エナジー(株)、北電技術コンサルタント(株)、
北陸通信ネットワーク(株)、北電情報システムサービス(株) 【計6社】